

はあ〜てい

vol.235

2017年5月号

益田市の
社協
だより



この広報紙には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

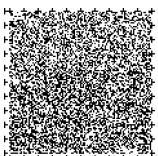
『町・郵便局・社協』が連携して、 ひとり暮らしの方の生活を見守っています



益田市社会福祉協議会美都支所では、町内のひとり暮らしの方が安心して暮らせるよう、美都郵便局の協力のもと「友愛メール事業」を平成3年10月に開始しました。

この事業は共同募金の助成を受けて実施している事業で、毎月一回、季節や祭事の由来、健康づくりに関する記事を中心とした手紙を作成し、現在、約80名のひとり暮らし高齢者の方に届けています。

郵便配達員の方がなるべく直接手渡し出来るよう関係機関と連携を取っており、配達時に一人ひとりに声掛けを行うことで、対象者の安否を確認するとともに、事故防止を図ることを大きな目的としたものです。不在が続いていたり郵便物が溜まっていたりするなどの報告の際は、民生委員や美都地域包括支援センターへつなぎ訪問しています。



平成29年度 事業計画・予算

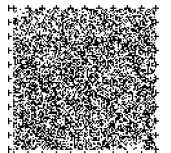
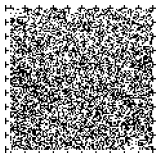
私たち益田市社会福祉協議会は、地域における多様な支援ニーズに的確に対応していくため、個別課題に対応するだけでなく、個人や世帯が抱える様々な課題に包括的に対応し、また、地域の実情に応じて高齢・障がいなど分野をまたがって、総合的に支援実施をしていきます。



平成29年度予算

収入科目	単位 (千円)
会費収入	15,064
寄附金収入	8,541
経常経費補助金収入	102,644
受託金収入	313,690
貸付事業収入	2,500
事業収入	8,133
負担金収入	280
介護保険事業収入	549,886
保育事業収入	909
障害者福祉サービス等事業収入	3,842
受取利息配当金収入	31
その他の収入	2,265
基金積立資産取崩収入	3,300
積立資産取崩収入	70,000
拠点区分間繰入金収入	65,313
サービス区分間繰入金収入	5,493
前期末支払資金残高	148,121
収入合計	1,300,012

支出科目	単位 (千円)
人件費支出	700,679
事業費支出	216,685
事務費支出	97,323
利用者負担軽減額	189
貸付事業支出	2,000
共同募金配分金事業費	12,520
助成金支出	18,539
負担金支出	773
固定資産取得支出	394
ファイナンス・リース債務の返済支出	4,659
基金積立資産支出	630
積立資産支出	70,000
拠点区分間繰入金支出	65,313
サービス区分間繰入金支出	5,493
その他の活動による支出	27,442
予備費支出	400
当期末支払資金残高	76,973
支出合計	1,300,012



重点目標

1. あんしん生活支援センター事業の推進

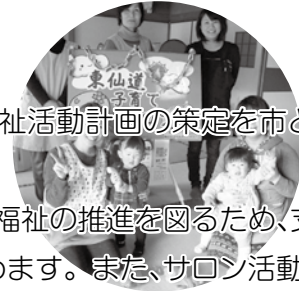
あんしん生活支援センターとして、あらゆる生活・福祉課題への対応に努めるとともに、事業推進にあたっては、生活困窮者自立支援事業、相談・貸付事業、法人後見推進事業、日常生活自立支援事業、入居債務保証支援事業、フードバンク事業等と連携し、包括的・個別的に取り組みます。



2. 地域福祉事業の推進

平成30年度から始まる、第3期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定を市と一体となり進めていきます。

地区社協との連携の中で、支え合いマップづくりによるご近所福祉の推進を図るため、支え合いマップづくり及び地域福祉活動に取り組む自治会の拡大と充実に努めます。また、サロン活動については、県内他市での実施状況調査と推進策を検討し、サロンの拡大を進めます。



児童館については、市との連携により、子育て支援施設としての利用や地域の利用など、多面的な利活用ができるよう、地域住民及び関係機関等と協議・検討していきます。

社会福祉法人改革の地域貢献においては、市内社会福祉法人と連携し、連絡会の設置協議・運営を行い、地域貢献事業を進めます。

3. ボランティア・福祉教育の推進

ボランティアセンター機能の充実に努めるとともに、サマーボランティアスクール、出前手話講座、福祉教育指定校、福祉出前講座等により、福祉教育を推進します。特に、サマーボランティアスクールについては、活動日程及び受入施設を拡大し、参加者ニーズに対応します。

また、昨年改訂した『益田市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル』に基づき、災害ボランティアセンターの設置運営訓練等を行います。



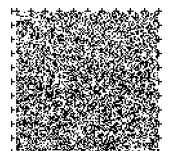
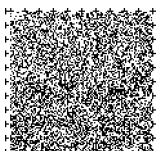
4. 在宅・施設サービスの推進

美都・匹見地域高齢者福祉施設については、本年度から5ヶ年の指定管理を受け、各施設・事業が効率的・安定的に運営できるよう努めます。

介護保険事業については、利用者増を図るとともに、加算取得、PR等に努めます。また、地域包括ケアシステムの構築と推進、地域支援事業への移行対応に取り組みます。

5. 社協基盤の強化

財源確保が厳しくなる中、安定経営に向けた検討に取り組み、対応を進めます。また、役職員の資質向上を図るため、自己研修の奨励を進め、資格取得祝金制度を活用し、職員の育成と定着の推進に努めるとともに、社協職員としての共通認識を深めるため、社協職員全員研修会を実施します。



ご近所福祉のあれこれ!

Vol.3
(特別編)

平成28年度

ふれあいネットワークまちづくり研修会開催!

去る2月、益田市総合福祉センターにおいて、「支え合いマップからはじまるご近所福祉活動」をテーマにした研修会を開催し、約160名が参加されました。

今回の研修会は、この度初めて益田市・津和野町・吉賀町社協の3社協合同で開催されたもので、「支え合いマップ」の考案者である住民流福祉総合研究所代表の木原孝久氏を招いて、ご講演頂きました。

講演の中では人付き合いに対する意識を確認するテストを行いました。参加者は自らのテスト結果を見ながら、「詮索やお節介という言葉は、日本人の感覚では悪いイメージ。しかし、助け合い=迷惑をかけあうことであり、助け合いはきれいでごとはないことを分かってほしい。」という講師の言葉を聞いて、助け合いがうまくいかない理由に納得された方が多かったようです。

さらに、木原講師がシナリオを作られた「支え合いマップ寸劇」を社協職員が演じ、支え合いマップづくりの具体的な作り方を分かりやすく伝えられたことが参加者に好評でした。



講演中の木原講師

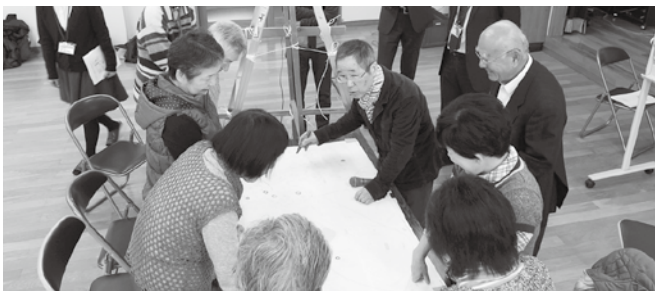


発表中の光永氏と中岡氏

現在、支え合いマップに取り組みられている水分自治会長の光永榮子氏からは、支え合いマップに取り組む動機や経緯を、津和野町木ノ口地区で民生委員をされている中岡誠氏からは、支え合いマップづくりから住民による大量のゴミが溜まって片づけられない世帯の支援に繋がった体験など、これから自治会等で取り組みたいと考えられている関係者の方々には有益な情報となりました。

木原講師には、研修会の他に、「支え合いマップづくり」「勉強会」にも参加して頂きました!

支え合いマップづくり (下本郷北自治会)



住民7名の方と共に実際の支え合いマップが作成され、見えてきた課題について、住民による解決方法(取り組み課題)を話し合いました。

匹見下地区での支え合いマップ勉強会

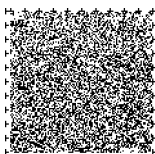


『匹見下いいの里づくり協議会』のメンバーを中心に、連合自治会ごとで作成された支え合いマップを基にした勉強会が行われました。

ふれあい福祉相談のご案内 5月・6月の相談日 場所：益田市総合福祉センター

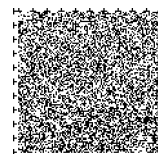
	無料法律相談 13:00~15:00 (要予約)	ふれあい福祉相談 10:00~15:00	老人母子相談 10:00~15:00
5月	12日(金)	12日(金)	12日(金)・26日(金)
6月	9日(金)	9日(金)	9日(金)・23日(金)

家庭内外のトラブルや心配ごと等、広く日常生活上の相談をお受けしています。どこに相談したらいいの?という時、ふれあい福祉相談をご利用下さい!



問い合わせ
予 約

益田市社会福祉協議会 ☎ 22-7256
(月~金 8:30~17:30)



福祉活動を応援します

平成29年度地域福祉活動助成事業の募集

益田市で行われる先駆的な地域福祉事業に対し、皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金並びに社協会費、善意寄付金等を原資として、活動費の助成を行います。

助成の対象になる事業

- ①社会福祉活動に関する啓発、指導者等の養成訓練事業
- ②在宅福祉等普及向上の事業
- ③健康生きがいつくり事業
- ④ボランティア等活動活性化事業
- ⑤その他、地域福祉の向上に関する事業

【平成28年度の助成事業のご報告】 ※他の助成事業報告については、5月頃社協ホームページに記載します。



北仙道レククラブ
レクリエーションを通じ、健康増進を図る活動を行っています。助成金を活用し、高齢者でも気軽に利用できる『ユニカール』を購入しました。他地域や他団体への貸出を行い、健康・生きがいつくり推進に役立っています。



息域スペースポコ・ア・ポコ
障がいがある人の『地域での居場所づくり』を核に活動を行っています。社会福祉活動は地域の方に知っていただく事も大切だと考え、機関紙の増刷に助成金を活用し、市内各施設へ設置しました。

- 助成金額** 助成の対象は事業の経費総額の3分の2以内とし、30万円を限度とします。
- 申請期限** 益田市社会福祉協議会で配布する申請書に必要書類を添えて平成29年6月7日(水)までに提出してください。
- 問合せ先** その他、申請に関わる詳細については、下記までお問合せください。
益田市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎22-7256

善意の輪 敬称略

(平成29年2月1日～平成29年3月31日)

ご寄附ありがとうございました。地域福祉活動事業費や福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

【香典返し】			【一般寄付】					
(做) 勝田松麻呂	中吉田町	10万円	(做) 下森 初美	下本郷町	金一封	(做) 宮崎 豊	高津町	金一封
(做) 竹内 隆道	高津六丁目	金一封	田原 秀樹	下種町	金一封	(做) 三浦 哲夫	大草町	5万円
(做) 狩野 光子	飯田町	金一封	(做) 澤江伊三武	遠田町	金一封	川上 和人	下種町	金一封
中島 三郎	高津一丁目	金一封	(做) 林 正	高津二丁目	金一封	(做) 山藤 一郎	美都町仙道	金一封
久保田健一	波田町	金一封	(做) 長戸 裕子	金山町	金一封	(做) 寺戸 寮	匹見町澄川	5万円
山本 千寿	長沢町	金一封	(做) 右田 和子	乙吉町	金一封	(做) 大谷ユキコ	匹見町広瀬	金一封
(做) 三原 董充	久々茂町	金一封	藤井 傳	白上町	金一封	(做) 久保田友子	匹見町紙祖	5万円
川崎 昭光	飯浦町	金一封	(做) 小河 三郎	東町	金一封	【一般寄付】		
(做) 石川 吉子	隅村町	金一封	(做) 永井健二郎	高津六丁目	金一封	カラオケサークル一同		金一封
大賀 秀毅	戸田町	金一封	桐田 秀子	幸町	金一封	大場いとこ会(卯ノ木)		金一封
(做) 大達スミ子	中須町	金一封	石川 一夫	白岩町	金一封	東仙道地区文化祭美都中学生有志		金一封
(做) 寺田 博視	土田町	金一封	大畑みどり	中島町	金一封			
			(做) 道満 禧夫	幸町	金一封			

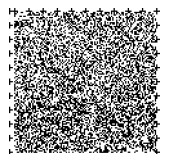
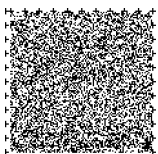
社協会費納入のお礼

賛助会員として、新たに「楽点会」「益田地区社会福祉協議会」「二条地区社会福祉協議会」様からご協力いただきました。誠にありがとうございました。

社協だより3月号 (No.234) におけるお詫びと訂正

次のとおり誤りがございました。お詫びして訂正させていただきます。

- P3 善意の輪
 - (誤) 【香典返し】 村岡 育子 (あけぼの西町)
 - (正) 【見舞返し】 村岡 育子 (あけぼの西町)
- 別紙「平成28年度特別会員・賛助会員一覧」
 - (誤) 知的障害者通所授産施設「のぞみの里」
 - (正) 障がい者就労支援事業所「のぞみの里」



平成29年度 益田市総合福祉センター老人・母子講座のご案内

総合福祉センターでは、老人・母子福祉事業の一環として、お年寄りの方に教養を高め、明るく豊かな老後を過ごしてもらうため、また母親と児童の相互理解を深め、福祉の向上を図るため老人・母子講座を開催しております。今年度は下記のとおり行いますので、是非ご参加下さい。対象は、老人（60才以上）及び母子・寡婦の方です。

講座名	社交ダンス教室 (初心者・中級者)	囲碁教室	習字教室	手編教室	園芸教室	いきいき健康教室 (筋肉トレーニング)
期 間	5月12日～3月9日	6月8日～11月9日	5月16日～3月13日	5月13日～3月10日	5月19日～3月16日	5月19日～3月2日
期 日	毎月第2金曜日	毎月第2・4木曜日	毎月第2火曜日 (初回第3火曜日)	毎月第2土曜日 (8月第1土曜日)	毎月第3金曜日 (8月第4金曜日)	毎月第1金曜日 (初回第3金曜日)
時 間	13:30～15:30	9:30～11:30	13:30～15:30	10:00～12:00	13:30～15:30	9:00～10:00
回 数	11回	11回	11回	11回	11回	11回
講 師	増野 栄一	田原 俊平	城市 霊泉	中田登志枝	城市 政知	美原 愛子
集人数	40名程度	20名程度	20名程度	20名程度	20名程度	15名程度
受講料	無料	無料	無料(但し、実費必要)	無料(但し、実費必要)	無料(但し、実費必要)	無料
内 容 その他	・初心者の方大歓迎。 ・毎月第4金曜日は自主的に実施。 ・ハイヒール等の靴は使用禁止です。	・初心者の方大歓迎。	・習字用具等は各自でご持参下さい。	・初心者の方大歓迎。 ・編み棒、かぎ針は各自でご持参下さい。	・材料代等は各自でご負担して下さい。	・膝、腰、股関節など痛みのある方、足腰に自信のない方大歓迎。 ・運動のできる服装でご参加下さい。
開催日程 (予定)	5月12日・11月10日 6月9日・12月8日 7月14日・1月12日 8月11日・2月9日 9月8日・3月9日 10月13日	6月8日・9月14日 6月22日・9月28日 7月13日・10月12日 7月27日・10月26日 8月10日・11月9日 8月24日	5月16日・11月14日 6月13日・12月12日 7月11日・1月9日 8月8日・2月13日 9月12日・3月13日 10月10日	5月13日・11月11日 6月10日・12月9日 7月8日・1月13日 8月5日・2月10日 9月9日・3月10日 10月14日	5月19日・11月17日 6月16日・12月15日 7月21日・1月19日 8月25日・2月16日 9月15日・3月16日 10月20日	5月19日・11月3日 6月2日・12月1日 7月7日・1月5日 8月4日・2月2日 9月1日・3月2日 10月6日
会 場	大集会室	研修室	大集会室	会議室B	ふれあい広場	大集会室
	益田市総合福祉センター					

- ※ 期日や会場は原則的であり、変更の場合があります。
- ※ 申し込みは、平成29年5月8日(月)より電話でのみ受付をします。総合福祉センター(TEL:22-7256・23-4177)までお願い致します。また、定員になりしだい締め切りさせていただきます事をご了承下さい。詳しいことは、益田市社会福祉協議会(総合福祉センター)へお問い合わせ下さい。平成29年5月8日以前の受付、及び土・日曜日の受付は一切行いませんのでご了承下さい。
- ※ 当講座内での物品の販売、センター講座以外への勧誘行為は禁止します。そのような行為を発見・確認しましたら当講座を辞めて頂く場合もありますのでご理解下さい。

日頃から助け合える地域づくりで災害に備えよう! (3月7日)

益田市人権センターで、益田市ボランティアセンター研修会を開催し、約150名の方にご参加いただきました。

講師の日野ボランティアネットワークの山下弘彦氏から、災害時、近隣住民の手で救援活動がいち早く行われたことにより死者が出なかった例などを挙げ、お互いが気に掛ける見守りや、ご近所同士の助け合いができるような地域づくりが大切であることを教えていただきました。



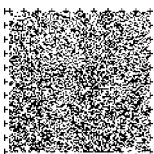
また、被災者とボランティアを繋ぐ災害ボランティアセンターの機能と役割について、分かりやすく説明され、ぜひ地域に伝えてほしいと呼びかけられました。



エコキャップが集まりました!! (3月23日)

昨年10月から収集を開始したエコキャップを回収業者へ送りました。皆様から頂いたエコキャップの総量は73,530個(171kg)で、世界の子ども達85.5人分のワクチンとなって届けられます。

詳しくは社協ホームページに掲載しておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。



発行: 社会福祉法人 益田市社会福祉協議会 TEL: 698-0036 益田市須子町3-1
 編集: 益田市社会福祉協議会広報運営委員会 TEL: 0856-22-7256 FAX: 0856-23-4177
 社協e-mail: masuda_h@masuda-shakyou.or.jp
 「はあーてい」は英語で「心の温かい」、「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

社協ホームページ

益田市社協

検索

